

中国では化粧品や洗剤のトータルなイメージ・効能よりも、配合されている成分に着目し、その効果を重要視する「成分党」が急増中! 今回はSNS「小紅書(RED)」のインフルエンサーのレビューから、人気・不人気の成分をまとめてみました。

### 化粧品・シャンプー



**中国語** **日本語**

**合成界面活性剤**

月桂酸酯、月桂醇聚醚-4、月桂醇硫酸鈉

PEG-12、ラウレス-4、ラウリル硫酸ナトリウム

**合成防腐剤**

DMDM 乙内酰脲、羟苯丁酯

DMDM ヒダントイン、ブチルパラベン

**鉱物油・合成油性成分**

鉱物油、純地蠟、天然地蠟

ミネラルオイル、セレシン、オゾケライト

ノンシリコンは「無硅油」という

子ども向け化粧品は安全性重視

刺激が少ないクレンジングオイル

**中国語** **日本語**

**保湿成分**

玻尿酸、神經酰胺、氨基酸

ヒアルロン酸、セラミド、アミノ酸

**美白成分**

煙酰胺、伝明酸、熊果苷

ナイアシンアミド、トラネキサム酸、アルブチン

**アンチエイジング成分**

勝肽、玻色因、視黄醇

ペプチド、プロキシレン、レチノール

ヒアルロン酸は原液が人気。ほかの化粧品にプラスして使う

粉末タイプのナイアシンアミド

ペプチドはシミ・シワクリームが人気

**研究熱心な「成分党」に大注目**

国産コスメ市場が成長し、様々な効能をうたった化粧品で溢れるようになった中国。そんななか、化粧品成分そのものに注目し、より自分の肌にあつた成分や、効果的な成分の組み合わせを追求するユーザーが誕生。そのような人は「成分党」と呼ばれ、美意識が高く研究熱心なユーザー層として注目されるようになった。

各SNSではそんな成分党が、自分のオススメ化粧品を紹介したり、化学成分を解説したりして盛り上がっている。今回はそこから、人気・不人気の成分についてピックアップした。

「**玻尿酸(ヒアルロン酸)**」は保湿効果が高いとされる成分で、日本でもお馴染みだ。最近では、ヒアルロン酸のみを配合した「原液」と呼ばれる化粧品も多数販売され、ユーザーが手持ちの化粧品にプラスして使われている。こういった1つの成分のみが配合された化粧品は、ナイアシンアミドやビタミンCなども人気。いわゆる「オーリンワン」とは全く逆の方向性を持つシリーズだ。

**安全性の追求も高まる**

一方で要注意と紹介されている成分は、日本でも敏感肌の人には気をつけたいといわれている、合成界面活性剤や合成防腐剤が多かった。もちろん、正規に販売されている化粧品はどれも中国の安全基準をクリアしたものはかりだが、敏感肌の人や妊婦、子どもの化粧品はこういった成分がひと際気になるところ。ネットショップでは「**無硅油(ノンシリコン)**」「**シヤンプーや、無鉱物油(ミネラルオイル不使用)**」のクレンジングオイルも多数。中国語の化学成分は、長くややこしいが、一度化粧品パッケージをチェックしてみるのいいかも。



### 食器・洗濯・掃除洗剤

**中国語** **日本語**

**洗濯洗剤**

防腐剤

DMDM乙内酰脲、甲基異噁唑啉酮、甲基氯異噁唑啉酮

DMDMヒダントイン、メチルイソチアゾリノン、メチルクロロイソチアゾリノン

**界面活性剤**

椰油酰胺(DEA)

パーム核脂肪酸アミドDEA

**掃除洗剤**

蛍光増白剤

蛍光漂白剤

蛍光剤不使用を強調する洗剤は多い

下着専用洗剤は、特に防腐剤に注意したい

子ども用の洗剤も、やさしい成分を使用

**中国語** **日本語**

**食器洗剤**

GB 14930.1 (A類)

「食品安全国家标准 洗净類」A類基準

**掃除洗剤**

碳酸氢鈉(小蘇打)

炭酸水素ナトリウム(重曹)

檸檬酸

クエン酸

洗剤の表記をチェック。A類かどうかを確認してみよう

重曹は中国でも万能掃除剤として重宝される

哺乳瓶の洗浄などにも安心なクエン酸

**ラベルで安全ランクをチェック**

普段使う洗剤や食器洗い洗剤についても、その成分をしっかりと見極める人が増えてきた。特に小さい子どもを持つ親や普段から下着を手洗いする人は、間接的に口に入れたり、肌に触れたりする洗剤について、かなり厳しい目でチェックしている。

食器洗い用洗剤については、界面活性剤の使用などが気になるところだが、こちらは中国が定める食品国家安全基準が目安になるだろう。洗浄部門における安全の最高ランクはAで、Aランクは食器のほか、野菜などの食品を洗うのに使っても問題ないとされるレベルだ。洗剤のラベルを見ると「**GB 14930.1 (A類)**」と記載されているのがそれにあたる。続くBランクは、食器や包丁など食品に触れるものの洗浄に使っても問題ないレベルとされている。ほか、食品洗い専門の洗剤はラベルに「**GB/T 24691**」と表示されている。

**掃除も化学成分が大事**

洗濯用洗剤掃除用洗剤で気になるところは日本と同じで、アレルギーを起しやすい界面活性剤や防腐剤などが含まれていないかどうかだ。特に子どもの服用洗剤や、下着用洗剤は防腐剤不使用などを大きく強調している製品が多い。

洗剤では「**小蘇打(重曹)**」や「**檸檬酸(クエン酸)**」が人気で、これら駆使して家中を掃除している。「小紅書(RED)」で「自製清潔剤」と検索すると、各所に合わせた洗剤の作り方がズラリ。汚れのタイプに合わせて色々な材料を組み合わせて作る洗剤は、まさに掃除界における「成分党」のなせるワザ。ぜひ肌にも環境にもやさしい洗剤作りに挑戦してほしい。